

平成22年度

## 第4回 第3学区テニストーナメント

### ダブルスの部

と き 平成23年1月15日(土)～2月6日(日)

予選 : 1月15日(土)～1月30日(日)

本戦予定: 2月 5日(土) 予備日 2月6日(日)

ところ 各学校テニスコート

参 加	男子: 大阪市内地区	12校	84ペア	
	中河内地区	12校	74ペア	
	南河内地区	12校	81ペア	
	合計	36校	239ペア	
	女子: 大阪市内地区	12校	64ペア	
	中河内地区	11校	52ペア	
	南河内地区	10校	42ペア	
	合計	35校	158ペア	
	総計		397ペア	794名

主催 第3学区テニストーナメント実行委員会

後援 大阪高等学校体育連盟テニス部

協賛 (株)インターナショナルスポーツ

## 大会役員

### 各地区幹事

大阪市内地区 阿倍野高校 座古 善弘  
中河内地区 高津高校 北尾 秀司  
南河内地区 富田林高校 小島 芳弘

### コートレフェリー

予選及び本戦会場の学校顧問

### 試合進行係

予選及び本戦会場のテニス部生徒

## 大会使用球

ブリジストン ツアープロ(4球入り)

※試合は2球を使用します。残りのボールは、競技中のボール紛失時に使用して下さい。敗者は4球とも持ち帰り、部活動の練習ボールにしてください。

ボールはすべて予選・本戦会場にて、出席を届けるときに、ボール缶を会場本部から配布されます。欠席がわかっているペアがあれば、同じ学校の生徒がボールを受け取って下さい。欠席者で会場校に連絡の上、後日ボールを取りに行ってください。会場校に連絡無く5日過ぎた場合は、会場校で使用して下さい。

## 表彰

優勝ペアに、賞状と大会持ち回りの優勝カップ(学校陳列用)と優勝盾  
準優勝・3位(ベスト4)に、賞状と盾を贈呈します。  
予選アップの選手には、賞状を贈ります。

## 試合方法

試合は、すべて1セットマッチ  
(6ゲームズオール 12ポイントタイブレーク)

## 試合規則

J T A 試合規則に従います。  
ただし、高体連テニス部主催の公式戦に準拠し、試合会場によりコートレフェリーの判断によりローカルルールを用いることがある。

## トーナメント注意事項

1. 試合は日程表に基づき進行するが、天候やその他やむを得ない理由により変更することがある。
2. 出席は、試合開始予定時刻15分前までに、更衣の上、大会本部に届けること。団体戦では試合開始時刻に登録メンバー全員（ただし補欠を除く）の出席が届いていない場合は失格とする。
3. 各日、各コートの初戦はセルフジャッジ、以降は敗者審判SCU方式。不適切なジャッジは、コートレフェリーが権限としてオーバコールし、指導することがある。
4. 試合は進行表（オーダーオブプレー）により行うので、指定されたコートの試合が終われば、ただちにそのコートに入り、試合を始めること。清潔で礼儀正しい習慣的に認められているテニスウェアを着用すること。靴は必ずテニスシューズのこと。
5. コートに入れる人は、プレーヤー・審判・レフェリー・シングルスの場合のみボールパーソン1人（対戦する双方から1人ずつ）。団体戦の時は、登録選手あるいは、学校顧問のベンチコーチ1名。
6. プレーヤーは、指定されたコートに入り、まずトスをしてサービス・エンドを決めてからウオームアップにはいる。ウオームアップはサービス4本とします。
7. プレーヤーは、試合中は何人からもいかなる方法においてもアドバイスを受けてはならない。また、何人もプレーヤーにアドバイスをしてはならない。（団体戦ではエンドの交替の時のみ、そのコートのベンチコーチからは可。）  
個人戦では、観客は拍手のみとする。
8. プレーは最初のサービスから試合終了まで連続的に行われなければならない。ケイレンなどの場合は、審判と本部に要求後に1回3分間に限りプレーヤー自身で手当てすることができる。また、プレーヤーはコートを離れることは許されない。もし、離れた場合は失格する。  
時間の管理は、会場レフェリーが行う。
9. 規則・注意事項に関して、再三注意を受けても守らない場合は失格とする。
10. 1人が連続して試合をしなければならない場合の休憩は、程度によりレフェリーが判断する。
11. 大会会場の美化整備には最大限協力しなければならない。各自のゴミは必ず持ち帰ること。
12. 大会会場で器物破損、その他不始末行為や暴行を働いた場合は、その生徒の所属する学校を対象に処分を行う。試合において不正があった場合も同様とする。
13. 会場へは、バイクや車を運転してくることを禁ずる。
14. その他、レフェリーまたは会場校生徒（試合進行の係）の注意指示を良く守り、テニスプレーヤーらしい行動をとること。JTAテニスルールブックなどにより、日頃からルール・マナーの研鑽につとめること。